

新古今和歌集

二
伝亀山院・青蓮院道円親王筆

愛媛
大学
古典叢刊

26

愛媛
大学

古典
叢刊
26

新古今和歌集

二

伝 亀山院・青蓮院道円親王筆

第二期 刊行書目（太字既刊）

- 15 拾遺和歌集 上 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本
 16 拾遺和歌集 下 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本
 17 大海集 上
 18 大海集 下
 19 景清
 20 春鑑抄他
 21 古今著聞集私記
 22 正統古事談・十訓抄私記
 23 源氏物語 上 伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本
 24 源氏物語 下 伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本
 25 新古今和歌集 一 伝亀山院・青蓮院道円親王筆
 26 新古今和歌集 二 伝亀山院・青蓮院道円親王筆
 27 新古今和歌集 三 伝亀山院・青蓮院道円親王筆

（以下三点）

新古今和歌集二 伝亀山院・青蓮院道円親王筆

昭和五十一年六月一日発行

編者 中 小 路 駿 逸

刊行 愛媛大学法文学部国語国文学研究室内
 愛媛大学 古典叢刊行会
 松山市文京町三

印刷所 有限 青葉図書印刷部
 松山市小栗六丁目三十三

発行所 790 松山市小栗六丁目三十三
 青葉図書

電話（〇八九九）四三一・一六五
 振替 徳島 六二一〇

愛媛大学 古典叢刊 26

新古今和歌集卷第七 賀年

うさし乃ゆきく國あるは

湯洗し

仁徳天皇御

まの世にのかりてまはさるに

たまりのまはにまはさる

紫衣

讀人不知

も所乃ち神のまはさる

てまはさる

子曰くは 藤原清正

祢のひして志はつるのひの松

七〇七

七〇八

七〇九

ひろくちあゝきつゝあゝ
 世に
 紀實之
 考よりしき子ばいなる人の
 もま乃いあゝきつゝあゝ
 事法院乃きつゝあゝきつゝあゝ
 あゝきつゝあゝきつゝあゝ
 まれきつゝあゝきつゝあゝ
 きつゝあゝきつゝあゝ
 世に

やまのしんじつにさるる山あり
 柳子肉を家とてさるる山

赤門下

赤門下ありてき春のぼけをい
 ちりとしさるるあつたててさるる

七葉の文をす有屏風

作跡

とえうのまはあふさるる
 ひうのまはあふさるる

近き所を屏風

紀貫之

しふふいふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ

ふふふ

ふふふ

ふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ

藤原興風

ふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふ

紀貫之

いかりな月乃さるを
 佇ねの秋うとてさるん
 文治六年丑入内所

皇太后上御

山のふもとに
 うらまへしちるへ

眞信公家所

清原元輔

後月一から一ふたに

一ちいせうれいれいれい

せう

件

山にまゝしつ神とてなるもの

ふくしと神といふしつなり

後二条院にまゐる神なる月まで

まゐるなりと大ニ条開自中なり

神なるなりと人まゐるなりと地の

神なるなりと人まゐるなりと地の

まゐるなりと人まゐるなりと地の

くもあふくちとあふすもつ水の聲し
やれる力もあふのけし

礼水堂年日表哥今池水とよ^らい

作務上補

いせのせとひくすもねしむ

うこのふもしのひるもみけを

埴川院大尊會所祈いさるあえさ

てうらひにかりそとておれに

曲傳やけり

六葉をま下

あふくちとあふすもつ水の聲し

くもぬきくはひるもあそび

天喜二年皇太后哥今祝の心

よるぬきれ 聖徳寺院國

すまのふはひるすまのねいふ

きつりきのをすれこれれ

寛治八年開白帝太后高陽院言

今祝の心

康賢寺

ふはひるすまのねいふ

きつりきのをすれこれれ

外村乃松子（のふねをさ子）

大貳三位

七二七

あはれなひのちのやまのこ松子
いふちりものもはまるん

永保三年丙亥子日記り

大貳三位

七二八

あはれなひのちのやまのこ松子
いふちりものもはまるん

大貳三位

七二九

あはれなひのちのやまのこ松子
いふちりものもはまるん

しつゝの成るべく云ふ人

永曆二年内妻哥令之祝ひ

ひれ

能中政之廷席

云々云々

いすのうなれん

むね

讀人

いすのうなれん

いすのうなれん

二葉院所時化有善父

秀成しめくきれもけき
なふみりもいてしるか

月露南敷花乃うりに寄るを依

られきい 三河内侍

おろそふもけしまたきふ

ちんきききのうりかふな

百々奉斎 中子肉親王

あろしうひ草木の光しるふ

つさりもふふふふふふ

京極ぬそくちんて手

七三五

まろしふ松有春多しよとふ

ふふ 松政多ぬキト

やあつてこの先もろくわさち

松もちものりあつてくれ

百々奉還

七三六

あつてまやまきも松も松代り

まきも松も松代り

十五百番合

ぬれくわもまきも松代り

上140ウ

祝の心成るるゆゑに

皇太子太子後成

七三八

所よりいづれもいづれもわいのや
いつ月白乃のこゝろふれん

十五百番今

藤原定家朝

七三九

我よりいづれもいづれもわいのや
いつ月白乃のこゝろふれん

よふいづれもいづれもわいのや
いつ月白乃のこゝろふれん

いつ月白乃のこゝろふれん

いつ月白乃のこゝろふれん

寒連師

そふこのまふひーふふりや
ふふのふふふふふふふ

和哥南園にふりてりふふふ

奏しゆー 源家長

ふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふ

遠く七年八道南園白ふふふ内て

ふふふふふふふふふふふ